



# 中小路 良輔



2007年 全日本カート選手権

東地域 第4戦

レースレポート

2007年7月29日 **SUN**

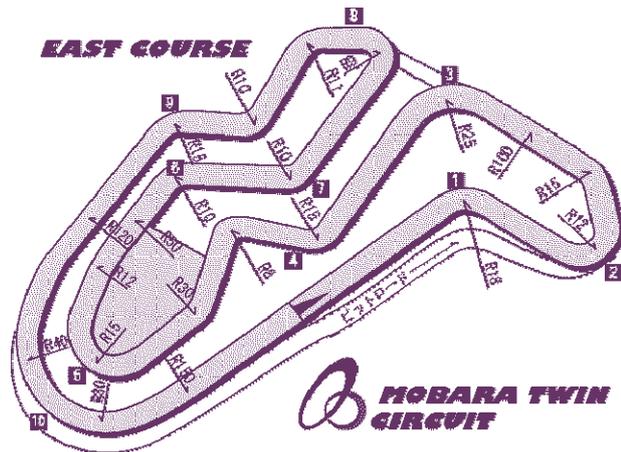
全日本カート選手権 東地域 第4戦

ICA Class

開催地 : 茂原ツインサーキット東コース(千葉県)

<http://www.mobara-tc.com/>

ゼ ッ ケ ン : 24  
フ レ ー ム : KOSMIC T11  
エ ン ジ ン : VORTEX RVA  
タ イ ヤ : DUNLOP DCS  
チ ー ム : KOSMIC R.T.J  
エ ン ジ ニ ア : 桑山 たかはる  
ア ド バ イ ザ ー : 山田 淳平  
メ カ ニ ッ ク : 中小路 秀春  
ド ラ イ バ ー : 中小路 良輔



## 7月27日(金)【コースイン】

今週の日曜日は、天気予報では、雨。でも今日は、真夏のように暑いです。いつものように金曜日は、エンジンナラシの日なので、午前中からナラシをはじめました。午前中に2基、午後に1基でエンジンナラシが完了。時間が余って、まだ練習できたのですが路面も良くないし、ナラシの時にスムーズに走っていたので、今日は、ナラシだけで終わりにしました。そのかわり、大きな茂原のコース、速い人の走りを移動したりして観ていました。



## 7月28日(土)【前日練習】

今日の練習できる回数は、6回。午前の3回は、自分の乗り方やラインなどを色々試して、午後に新品タイヤを使ってタイムを出し、最後のチェックをしようと決めて走行を始めました。午前は、乗り方やライン、やりたかったことが出来ていたのですが、午後の練習走行では、1回目・2回目と連続でエンジンが壊れてしまいました。そのため、新品タイヤを使うのが最後の練習になってしまいましたが、全然問題なくタイムも出せたのでホッとしました。明日は、天気も良さそうなので、結果を残せるようにがんばります。

## 7月29日(日)【レース当日】

### 公式練習

新品タイヤを使ってコースインしました。昨日の最後の練習とほとんど変わらない状態だったので、昨日と同じ感じだと思っていたのですが、車がすごく重くて、昨日と全然違っていました。みんな新品タイヤを使ったから路面が変わったのか、自分の乗り方が違うのか、色々考えた結果セッティングを替えました。



### タイムトライアル



セッティングを替えて、良い方向に行ったことがすぐわかりました。タイムも少しずつ上がって行って、これならいけると思いました。あまり走ってしまうと、タイヤが減ってしまうので、自分の中で6周までと決めていました。6周目に攻めて走って、上手くいっていたのですが、最終コーナーで失敗したので、そのまま帰ってきました。結果、5番だったけどレースを上手くやれば大丈夫です。

### 予選

スタートして、すぐに4番に上がりました。結構ペースが良くて、3番の人にすぐに追いつきました。でも速い所と遅い所が違って、抜けませんでした。抜こうと思ったら抜けたのですが、ここでタイヤを心配してタイヤを守ってしまいました。ピットに戻って、桑山さんに『ペースが良の方が速いんだから、もっと抜いて行け！待ったら行けない。ノックをしなきゃ扉は、開かない！！』と言われました。勝ちたくて、ここに来ているんだ。やれるんだからやらなきゃ！！と思いました。



## 決勝ヒート

タイム的には、トップと変わらない。レースを自分のものにすれば絶対に勝てると思いました。でも決勝スタートグリッドが4番だったので、優勝争いをするには、スタートで1つでも順位を上げないといけないと考えていました。レースがスタートして1コーナーで2台、2コーナーで上手く合わせて、もう1台と抜いてトップに立ちました。『上手いった！！』まさか、オープニングラップでトップに立てると思っていなくて、自分でも驚きました。ここからが勝負。出来るだけペースを上げ、逃げようと思いました。でも、4周目位に抜き返されてしまい、そのまま少しずつ離されていきます。『前の人速い。全然追い付けない。』と考えてしまい、一瞬諦めかけたのですが、『いや、まだわからない。このまま諦めないで、頑張り続ければ絶対に勝てる。』と思い直し、前を追いかけ続けました。レース中盤で水温が90度まで上がってしまいました。原因は、ポンプのベルトが外れたことでした。この時は、エンジンが壊れないか、すごく心配でした。でも、壊れたら仕方ないと思い、キャブを少し開けて、また前を追いかけることに集中しました。レース後半、前のペースが下がってきました。よし、もう少しで追い付く。少しずつ少しずつ、前との差がなくなってきて『ここしかない！』と思い、ヘアピンで前の人を抜きトップに出ました。あと3周を守りきる。もうタイヤもズルズルで、とても滑りやすかったけど、絶対にミスをしないように攻め続けて守りきりました。最終ラップの最終コーナー『エンジン壊れないでくれ！！』と思いながら立ち上がり、チェッカーを受けました。



## レースが終わって・・・

レース中盤で一度、諦めそうになった時、勝ちたいと思い直し、前を追い掛け続けたことが今回の優勝につながったんだと思う。前までは、離されて勝てないと思っていたかもしれない。でも今回は、2戦目、3戦目とすごく悔しい思いをしていたので、ここで勝たないと、チャンピオンもきびしくなる。だから絶対に勝ちたかった。『どんな時でも諦めない』その気持ちを絶対に忘れないようにします。今回、勝って本当に嬉しいです。でも、浮かれずに次の新東京でも勝てるように気合を入れて頑張り続けていきます。

中小路 良輔

# ICAクラス

■開催日:7月29日 ■天候:晴れ ■路面状態:ドライ

■開催コース:茂原ツインサーキット東コース(千葉県) ■参加台数:14台

	No.	DRIVER	TEAM	タイムトライアル		予選ヒート		決勝ヒート		最終結果
				TIME	順位	順位	周回	順位	周回	
1	24	中小路 良輔	KOSMIC RTJ	41"057	5	4	15	1	26	1
2	26	前原 佳明	チーム エッフェガーラ	41"001	3	2	15	2	26	2
3	17	飯島 宗一郎	まえだ眼科&パドローネRT	40"929	2	1	15	3	26	3
4	15	平山 直弥	レーヴRT	41"449	9	7	15	4	26	4
5	18	中村 純	ハラダカートクラブ	41"051	4	6	15	5	26	5
6	22	沼島 吟	チーム ストレガ	41"318	6	8	15	6	26	6
7	16	福田 浩之	M-BITドリームHKC	41"493	10	9	15	7	26	7
8	9	梅原 卓稔	マキシマテクニカルスポーツ	41"550	11	12	15	8	26	8
9	19	小河 諒	Sugiyama Racing	41"408	7	11	15	9	26	9
10	21	高塩 紀光	A PROJECT RT	41"601	12	13	15	10	26	10
11	27	佐藤 晃一	クワヤマレーシング	41"431	8	10	15	11	26	11
12	14	中村 ひかる	チーム オーガスト	41"602	14	14	ODNF	12	26	12
13	20	綿谷 浩明	SPS川口	41"602	13	5	15	13	25	13
14	11	土井 勝利	K. SPEED WIN	40"838	1	3	15	14	19DNF	14